

熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2025

夏秋ホウレンソウ「ジャスティス」の発芽と生育温度の閾値および遮光資材の利用法

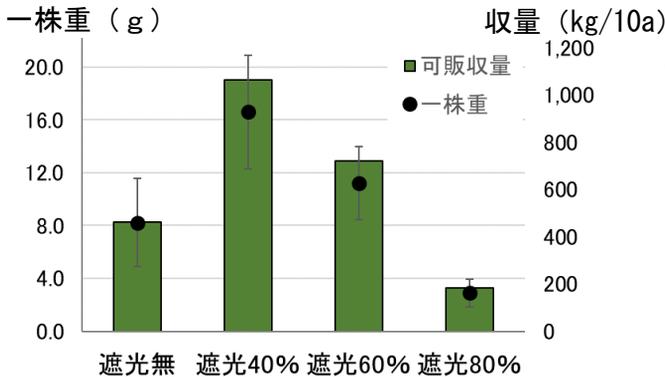


図1 遮光資材の遮光率と一株重、可販収量の関係
注) エラーバーは標準偏差を示す

表1 遮光資材除去時期と一株重の関係

	一株重 (g)
除去無	16.6 ± 4.3
収穫5日前除去	14.8 ± 3.6
収穫10日前除去	19.4 ± 5.8
収穫15日前除去	17.9 ± 6.0

注1) 平均値±標準偏差
注2) 遮光資材の遮光率は40%

問 研究のねらいは？

答 近年は地球温暖化の影響で、阿蘇地域においても梅雨明け後から8月中旬の期間は発芽不良や生育抑制により栽培が困難となっています。そこで、盛夏期用ホウレンソウ品種「ジャスティス」の発芽とその後の生育に及ぼす温度と降温手段としての遮光資材の利用法を解明しました。

問 優れている点は？

答 グロースチャンバ(人工気象器)を用いて、発芽とその後の生育に及ぼす温度を明らかにしました。

- 1 播種6日後の発芽率は、32℃以下で90%以上になります。
- 2 生育適温20℃と同等の生育をするのは、32℃までです。

答 遮光資材の効率的な利用法を明らかにしました。

- 3 遮光率40%の遮光資材を利用すると、一株重が重く、可販収量も多い傾向にあります(図1)。
- 4 遮光資材は、収穫10日前に除去すると一株重が重くなります(表1)。

問 栽培または普及するうえで注意する点は？

- 答
- 1 天井ビニルを複数年使用している場合は、フィルムの汚れ等により遮光率が高くなりやすいことに注意してください。
 - 2 遮光をすることで必要なかん水量が変化することがあります。